

# 景気景況調査報告

## (第2回)

平成28年4～6月期 実績  
平成28年7～9月期 見通し

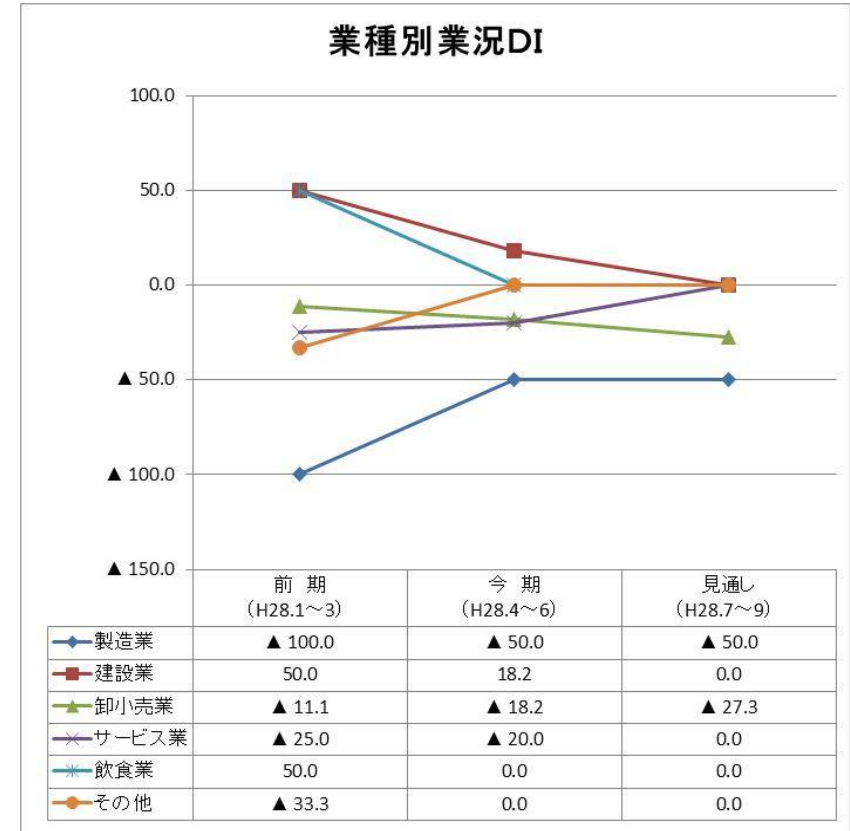
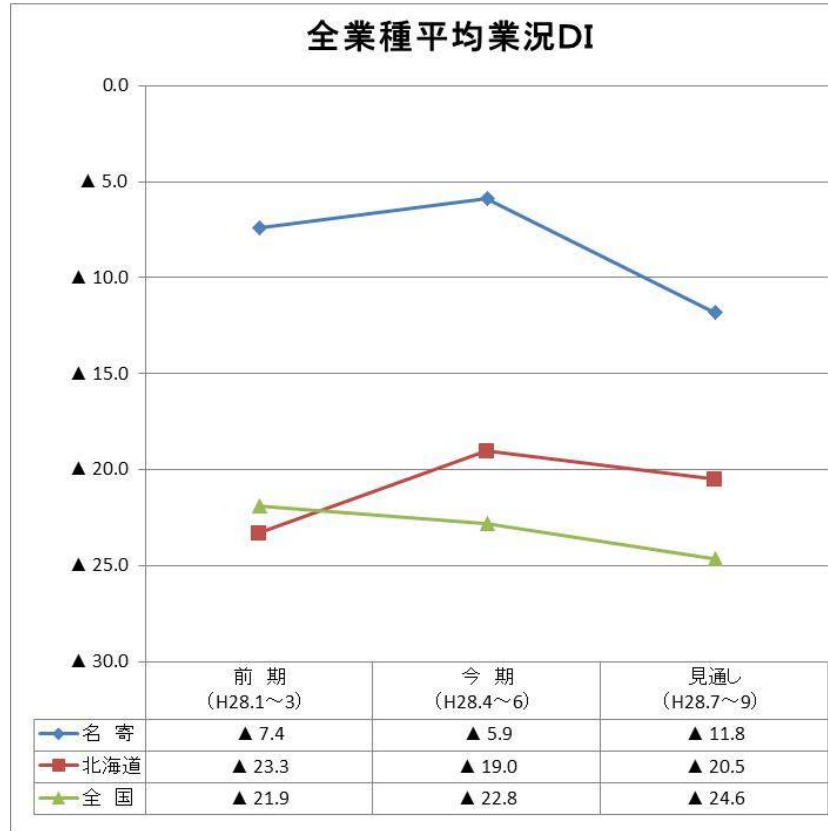
平成28年8月

名寄商工会議所

## 調査要領

調査対象期間	平成28年4～6月期の実績及び平成28年7～9月期の見通し
調査内容	製造業、建設業、卸小売業、サービス業、飲食業、その他の6業種に分類し、売上高、採算、仕入、従業員、業況、資金繰りの6項目について調査を実施。
調査対象	当所議員、正副部長及び青年部会員企業（一部抽出）67社【回収率50.7%（34社）】

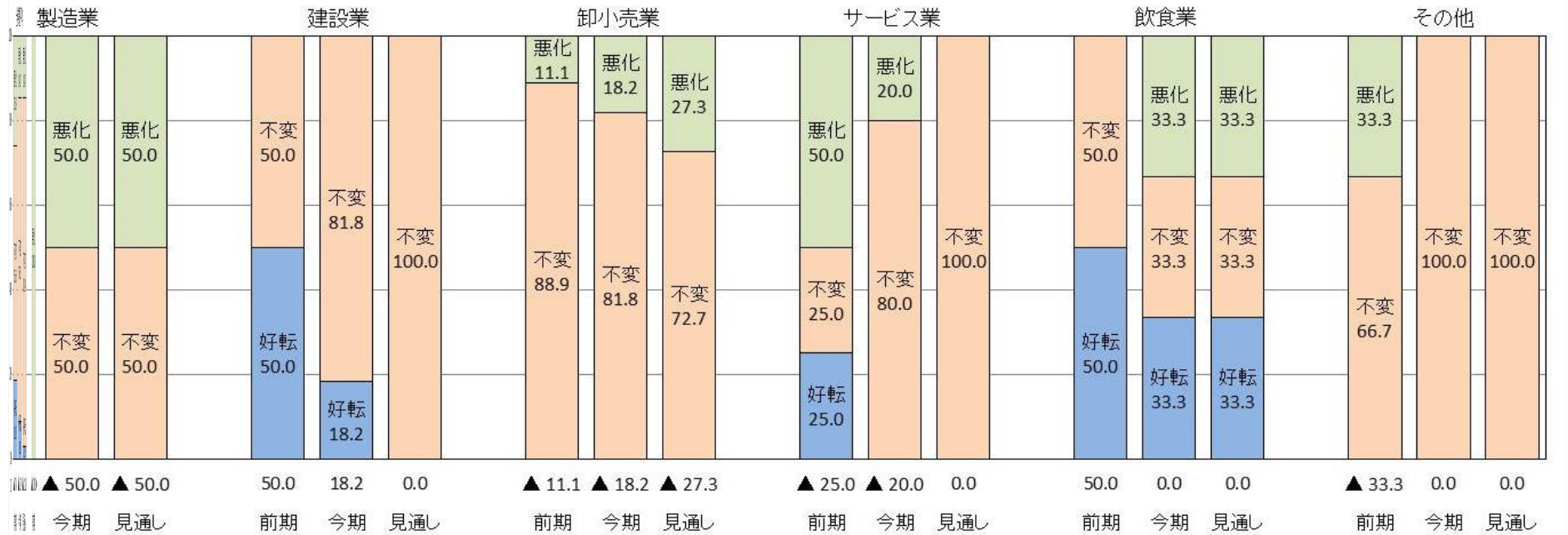
## 調査結果



DI：「好転」の回答企業と「悪化」の回答企業の差

- ・今期、全業種平均で 5.9ポイントと前回の調査に比べマイナス幅が1.5ポイント縮小となるが、「好転」「悪化」の回答が「不変」へ変化したことが主因である。
- ・北海道（道商連調査）の景気と比較すると、今期は13.1ポイント上回り、見通しでも8.7ポイント上回っている。
- ・全国（日商調査）の景気と比較すると、今期は16.9ポイントと上回り、見通しでも12.8ポイント上回っている。
- ・業種別では、製造・サービス・その他でマイナス幅が縮小、建設・飲食業でプラス幅が縮小、卸小売ではマイナス幅が拡大となった。

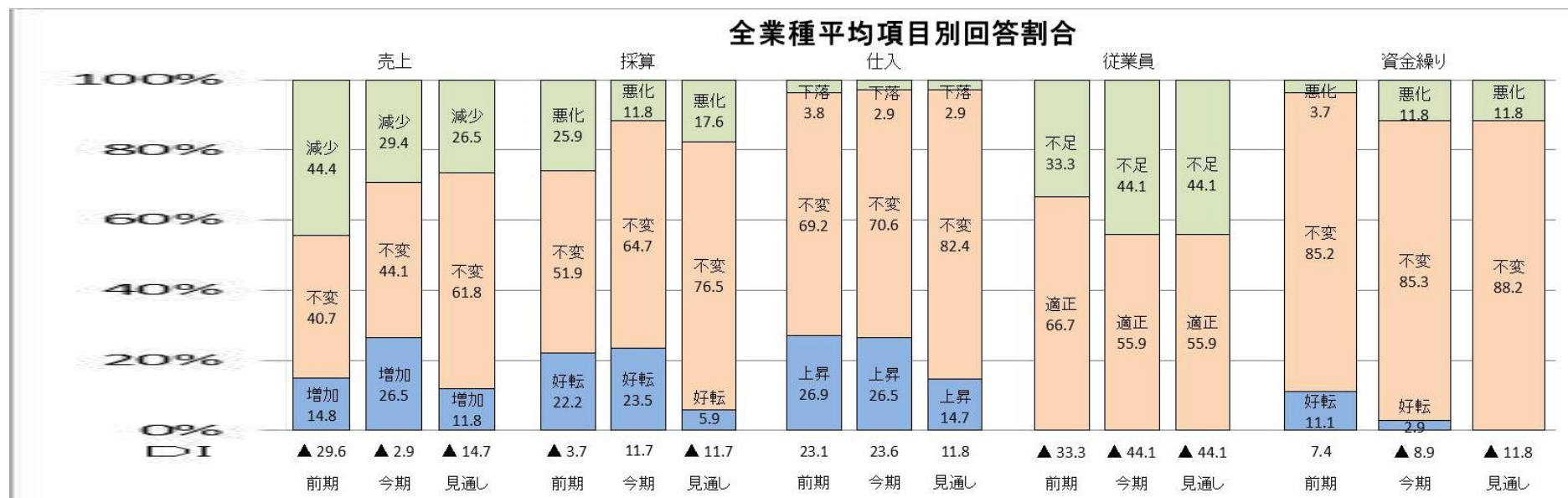
## 業種別業況回答割合



### DI: 「好転」の回答企業と「悪化」の回答企業の差

- ・製造業～今期「不変」「悪化」が50%と前期よりも減少。見通しでも横ばいとなっている。
- ・建設業～今期「好転」18.2%と前期より31.8%減少し、「不変」が増加。見通しでは「不変」が100%となっている。
- ・卸小売業～今期「悪化」18.2%と前期より7.1%増加し、見通しではさらに「悪化」の回答が9.1%増加している。
- ・サービス業～今期「不変」80%と前期より「好転」「悪化」が減少し「不変」が増加。見通しでは「不変」100%となっている。
- ・飲食業～今期「好転」「不変」が33.3%と前期より16.7%減少し「悪化」増加。見通しでも横ばいとなっている。
- ・その他～今期「不変」100%と前期よりも増加。見通しでも横ばいとなっている。

## 全業種平均項目別回答割合



**売上 DI** 今期 2.9ポイントと前期よりも26.7ポイントマイナス幅を縮小するが、見込みでは 14.7ポイントと11.8ポイントマイナス幅が拡大。

[増加の要因] ・受注、売上の増加（建設、卸小売）、新店舗出店（サービス）、特色ある商品リピーター増（飲食）

[減少の要因] ・発注の減少（製造、建設）、人口減少による消費低下（卸小売）

**採算 DI** 今期11.7ポイントと前期より15.4ポイントマイナス幅が縮小しプラスとなったが、見込みでは 11.7ポイントと、23.4ポイントマイナス幅を拡大。

[好転の要因] ・公共施設工事（建設）、観光客の増加が見込める（サービス、飲食）

[悪化の要因] ・人件費単価の上昇（サービス）、高齢化による消費低下（卸小売）

**仕入 DI** 今期23.6ポイントと前期と横ばいとなるが、見込みでは11.8ポイントと11.8ポイントとプラス幅が縮小。

[上昇の要因] ・大手メーカー値上げ（製造）・原材料の上昇（建設）、仕入価格の上昇（卸小売）、輸入原材料の高騰（卸小売）

**従業員 DI** 今期で 44.1ポイントと前期よりも10.8ポイントマイナス幅を拡大。見込みでは横ばいとなっている。

[不足の要因] ・国内全体に言える事で意識の変換から魅力が無くなった事（建設）

・受注が行ってせず不足状態で現状推移（建設）、工期の重複による（建設）総体的に人材不足（建設）、

・過去の市場の急激な落ち込みによりその後の公共民間事業の増加による（建設）

・希望している応募者がいない（卸小売）、業務の多様化（卸小売）、学生などバイト要員がいない（飲食）

・若者が少なく高齢化が進み働く人がいない（サービス）

**資金繰り DI** 今期で 8.9ポイントと前期より16.3ポイントマイナス幅が拡大。見込みでは横ばいとなっている。

[悪化の要因] ・経費の増加と売上減（卸小売）、売掛やカードが多くなっている（飲食）、設備投資を検討（飲食）